

横浜国立大学

保健管理センター 年報

第 43 号

(令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月)

横浜国立大学 保健管理センター

Center for Health Service Sciences



YNU C.H.S.S.

2023.3.31

はじめに

世界保健機関（WHO）が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がパンデミックに至っているとの認識を示して以来3年が経過した。大学では、日常をだいぶ取り戻しつつある。COVID-19の感染症法上の取り扱いも5類への移行が取りざたされているところである。



2023 年（令和 5 年）3 月末

保健管理センター所長 大重賢治

目 次

はじめに

I. 保健管理センターの概要

1. 沿革
2. スタッフ
3. 業務概要
4. センター施設
 - 平面図
 - 外観
 - 受付・待合ロビー
 - 診察室
 - 相談室
 - 処置室・休養室
 - 会議室

II. 学校保健

1. 学生一般健康診断
 - 1) 実施の流れ
 - 2) 実施状況
 - 3) 結果概要
2. 体育系部活動健康診断
 - 1) 実施の流れ
 - 2) 実施状況

Ⅲ. 職域保健

1. 教職員定期健康診断
 - 1) 実施の流れ
 - 2) 実施状況
2. 特殊健康診断
 - 1) 実施の流れ
 - 2) 実施状況
3. 産業医面談
 - 1) 超過勤務者面談実施状況
 - 2) 職場復帰支援面談実施状況

Ⅳ. 診療・カウンセリング業務

外来担当表（図）

1. 一般診療
 - 1) 月別診療件数
 - 2) 疾患別診療件数
2. 精神科診療・心理カウンセリング
 - 1) 月別件数

Ⅴ. 研究業績

1. 著書・論文
2. 学会発表等
3. 研究助成金

Ⅵ. その他

講義、講演、委員会 等

I. 保健管理センターの概要

1. 沿革

昭和 39 (1964) 年 8 月	横浜国立大学学生健康相談所設置に関する暫定内規（昭和 39 年 7 月 29 日決済）により、清水ヶ丘地区に学生相談所を設置。
昭和 39 (1964) 年 9 月	経済学部保健室、横浜分校保健室を統合整備し、清水ヶ丘地区内に学生健康相談所中央保健室として業務を開始。
昭和 39 (1964) 年 9 月	清水ヶ丘地区内に学生健康相談を開設、業務を開始。
昭和 40 (1965) 年 1 月	学芸学部鎌倉校舎が焼失したため、清水ヶ丘キャンパスに移転。学芸学部保健室を中央保健室に統合。
昭和 48 (1973) 年 4 月	大学保健管理センターを設置。学生健康相談所の業務を保健管理センターに移管、同相談所を廃止。工学部（弘明寺地区）に分室を設置。
昭和 49 (1974) 年 8 月	統合移転により、清水ヶ丘キャンパスから常盤台キャンパスに移転。
昭和 50 (1975) 年 3 月	常盤台キャンパス内に、保健管理センターの建物が竣工。
平成 11 (1999) 年 1 月	保健管理センター内に、身体障害者用トイレを増設。
平成 17 (2005) 年 12 月	保健管理センター内改修工事（診療室の増設他）を施行。
平成 22 (2010) 年 7 月	保健管理センターの英語表記を、それまでの Health Service Center から、Center for Health Service Sciences に変更（Health Service Center は通称として使用）。
平成 23 (2011) 年 4 月	健康診断証明書の自動発行システム導入。
平成 24 (2012) 年 7 月	保健管理センターの場所が、キャンパス中央（S5）に増改築された建物（学生センター）の 1 階に移転。
平成 24 (2012) 年 9 月	男女共同参画事業に付随するカウンセリング事業開始。
平成 27 (2015) 年 3 月	男女共同参画事業に付随するカウンセリング事業終了。
令和 2 (2020) 年 3 月	WHO が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるパンデミックを宣言
令和 2 (2020) 年 4 月	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるロックダウン

2. ス タ ッ フ

所長・教授	大 重 賢 治	(医師)
准 教 授	藤 川 哲 也	(医師)
講 師	杉 山 明 子	(臨床心理士)
看 護 師	楠 本 多 美	
看 護 師	熊 谷 美智代	
看 護 師	矢 野 明 菜	
非常勤医師	藤 川 美登里	(精神科医師)
非常勤医師	西 村 茉莉子	(精神科医師)
非常勤カウンセラー	松 本 菜 智	(臨床心理士)
非常勤カウンセラー	生 田 かおる	(臨床心理士)

3. 業 務 概 要

保健管理センターの業務は、大きく三つに分類される。学校保健業務、職域保健（産業保健）業務、そして診療・カウンセリング業務である。

学校保健に関する業務として、学生定期健康診断と体育系部活動等所属学生健康診断がある。学生定期健康診断は、4月に全新入生および全在校生を対象として実施している他、10月にも秋入学の学生を対象として実施している。体育系部活動等所属学生健康診断は、夏に開催される大会に向けて、例年6月に実施している。

職域保健に関する業務として、人事・労務課と協同して、教職員を対象とした一般定期健康診断、有機溶剤や電離放射線の取り扱い者（教職員および学生）を対象とした特殊業務健康診断、超過勤務者産業医面談、休職者の復職支援等の業務を行っている。一般定期健康診断は、例年6～7月に実施し、7～8月にかけて事後措置（有所見者の面談、医療機関紹介等）を行っている。特殊業務健康診断は前期（5～6月）に1回、後期（12月）に1回実施し、結果が出次第、有所見者への面談を実施し、状況に応じて、再検査もしくは医療機関受診の指示を行っている。

一般診療は、常勤医師2名が分担して行っている。精神保健については、常勤臨床心理士1名、非常勤臨床心理士2名、非常勤精神科医師3名の体制で実施している。一般診療、精神保健とも、スタッフそれぞれの専門性を生かしつつ、有機的に連携しながら、診療・カウンセリングを実施している。

令和４年度 保健管理センター業務 年間スケジュール

区分 月別	行 事	内 容	対 象
令和４年４月～５月	学生定期健康診断* (４月４日～１９日)	問診票記入、身長・体重、視力検査、聴力検査(会話法)、血圧・脈拍数測定、胸部×線間接撮影、内科診察	全学生(新入生および在学生) ①
	事後措置	血圧、胸部×線直接撮影、内科診察、精密検査のための病院紹介、身体的・心理的相談、健康診断証明書発行、保健指導	有所見者
５月～６月	前期特殊健康診断*	有機溶剤、電離放射線、紫・赤外線、塵肺、病原体特定化学物質、その他の有害物質取扱者及びVDT作業者に対する諸検査	教職員、学生(左記有害物質取扱者)
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介	有所見者
６月	体育系部活動等所属学生健康診断	体脂肪測定、血液検査(血球検査、肝機能、腎機能血中脂質、血糖)、心電図検査、問診、内科診察	体育系部活動等所属学生(定期健康診断受診者)
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介、運動可否判定	有所見者
６月～７月	教職員定期健康診断*	問診票記入、身長・体重・腹囲測定、視力検査、聴力検査(オーディオメーター)、血圧・脈拍数測定、尿検査、血液検査、胸部×線間接撮影、心電図検査便潜血検査、上部消化管造影検査、婦人科検診(乳房超音波検査、子宮細胞診)、内科診察	教職員
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介	有所見者
１０月	１０月入学生定期健康診断	問診票記入、身長・体重、視力検査、聴力検査(会話法)、血圧・脈拍数測定、尿検査、胸部×線間接撮影、内科診察	学生(１０月入学大学院生等)
	事後措置	血圧、尿再検査、体脂肪測定、聴力検査(オーディオメーター)、胸部×線直接投影、心電図検査、内科診察、精密検査のための病院紹介、身体的・心理的相談、健康診断証明書発行、保健指導	有所見者

区分 月別	行 事	内 容	対 象
1 2 月	後期特殊健康診断*	有機溶剤、電離放射線、紫・赤外線、塵肺、病原体 特定化学物質、その他の有害物質取扱者及びVDT作 業者に対する諸検査	教職員、学生（左 記有害物取扱者）
	事後措置	再検査、精密検査のための病院紹介	有所見者
令和5年1 月～3月	各種健康診断結果集計		
	次年度保健管理計画作 成		
通 年	●学生健康診断 （学外実施）*	問診票記入、身長・体重、視力検査、聴力検査（会 話法）、血圧・脈拍数測定、尿検査、胸部X線間接 撮影、内科診察	4月の定期健康 診断を受診でき なかった学生
	●事後措置	精密検査のための病院紹介、身体的・心理的相談、 健康診断証明書発行	有所見者
	●入学予定者健康診断	書類審査	入学予定者
	●教職員採用時健康診 断（毎月）	書類審査、教職員採用時健康診断	採用者
	●一般外来診察・心理 相談・保健指導	保健管理センターにおいて、医師、臨床心理士、看 護師等によって行う	学生、教職員
	●各種大学行事救護		学生、教職員、一 般参加者等
	●長時間労働者面接指 導	産業医	教職員
	●教職員復帰支援	産業医、精神科医、カウンセラーによる休職者の復 帰支援	メンタル不調によ り休職した教職員
	●労働安全衛生委員会	月1回開催 産業医	
	●危機管理警戒本部	随時開催 産業医	

*財団法人神奈川県労働衛生福祉協会と業務契約を結び実施

4. センター施設



平面図

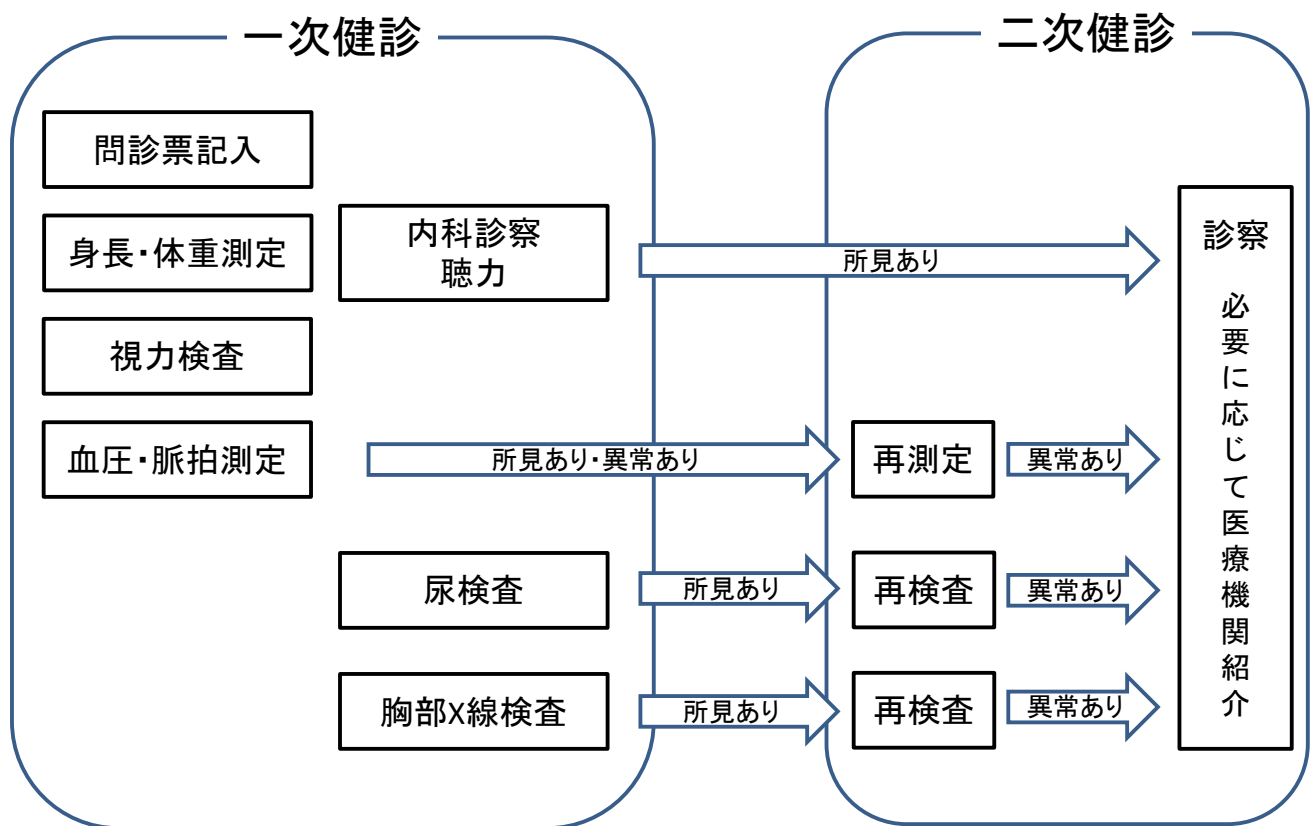


外観

Ⅱ. 学校保健

1. 学生一般健康診断

1) 実施の流れ



《一次健診で行われる、血圧測定、尿検査、胸部 x 線検査（間接撮影）にて異常所見が認められたものは、後日、再検査が実施される。再検査においても異常が認められた場合、保健管理センターの医師による診察が実施され、必要に応じて外部の医療機関への紹介がなされる。一次健診での内科診察で再診察が指示された場合も同様に、保健管理センターの医師による診察が行われる》

2) 実施状況

学部生

		一年生		二年生		三年生		四年生		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	
経済学部	学生数	211	53	213	42	196	61	273	68	1117
	受診者数	172	44	60	15	47	16	70	27	451
経営学部	学生数	212	98	193	102	187	105	233	112	1242
	受診者数	169	88	48	28	34	12	45	30	454
経営学部(夜間主)	学生数							2	0	2
	受診者数							0	0	0
理工学部	学生数	553	115	549	110	583	96	702	134	2842
	受診者数	478	114	265	66	145	24	228	47	1367
教育人間科学部	学生数							3	2	5
	受診者数							0	0	0
教育学部	学生数	92	121	84	126	95	148	115	141	922
	受診者数	87	121	83	119	91	146	45	95	787
都市科学部	学生数	144	112	160	87	157	89	176	108	1033
	受診者数	119	97	46	29	33	26	40	28	418
計	学生数	1212	499	1199	467	1218	499	1504	565	7163
	受診者数	1025	464	502	257	350	224	428	227	3477
	受診率	84.5	92.9	41.8	55.0	28.7	44.9	28.5	40.2	48.5

大学院生（修士・博士前期）

		一年生		二年生		三年生		計
		男	女	男	女	男	女	
教育研究科	学生数	43	36	46	34			159
	受診者数	21	25	19	12			77
国際社会科学府	学生数	44	51	50	62			207
	受診者数	19	32	8	6			65
国際社会科学府・法曹実務	学生数					1	0	1
	受診者数					0	0	0
先進実践学環	学生数	23	13	25	11			72
	受診者数	16	10	10	4			40
理工学府	学生数	306	56	334	55			751
	受診者数	215	48	221	34			518
環境情報学府	学生数	131	37	136	48			352
	受診者数	71	20	61	21			173
都市イノベーション学府	学生数	72	37	93	54			256
	受診者数	65	30	47	26			168
計	学生数	619	230	684	264	1	0	1798
	受診者数	407	165	366	103	0	0	1041
	受診率	65.8	71.7	53.5	39.0	0.0	0.0	57.9

学生一般健康診断：実施状況

大学院生（博士後期）

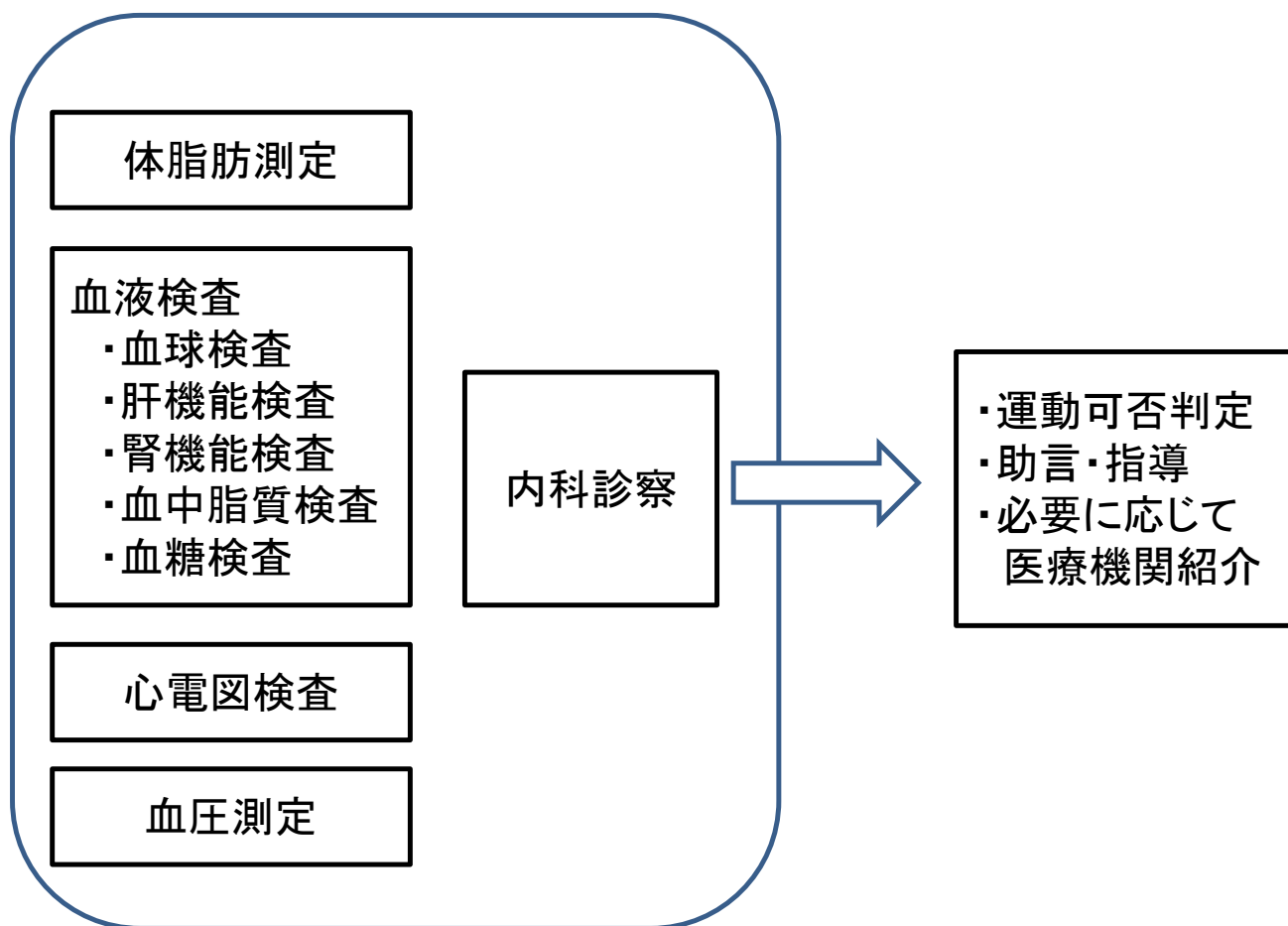
		一年生		二年生		三年生		計
		男	女	男	女	男	女	
国際社会研究科	学生数					0	1	1
	受診者数					0	0	0
国際社会科学府	学生数	7	6	10	13	36	21	93
	受診者数	1	3	2	4	0	0	10
工学府	学生数					6	1	7
	受診者数					1	0	1
理工学府	学生数	24	3	40	6	74	13	160
	受診者数	12	2	13	0	15	3	45
環境情報学府	学生数	11	3	11	3	61	19	108
	受診者数	3	1	1	0	4	2	11
都市イノベーション学府	学生数	3	1	15	3	40	22	84
	受診者数	2	1	3	1	6	3	16
計	学生数	45	13	76	25	217	77	453
	受診者数	18	7	19	5	26	8	83
	受診率	40.0	53.8	25.0	20.0	12.0	10.4	18.3

総計

		男	女	計
総 計	学生数	6775	2639	9414
	受診者数	3141	1460	4601
	受診率	46.4	55.3	48.9

2. 体育系部活動健康診断

1) 実施の流れ



《保健管理センターにて、血圧測定、心電図検査、血液検査および医師による内科診察を実施し、運動の可否を判断。専門医の判断等が必要な場合、外部医療機関へ紹介》

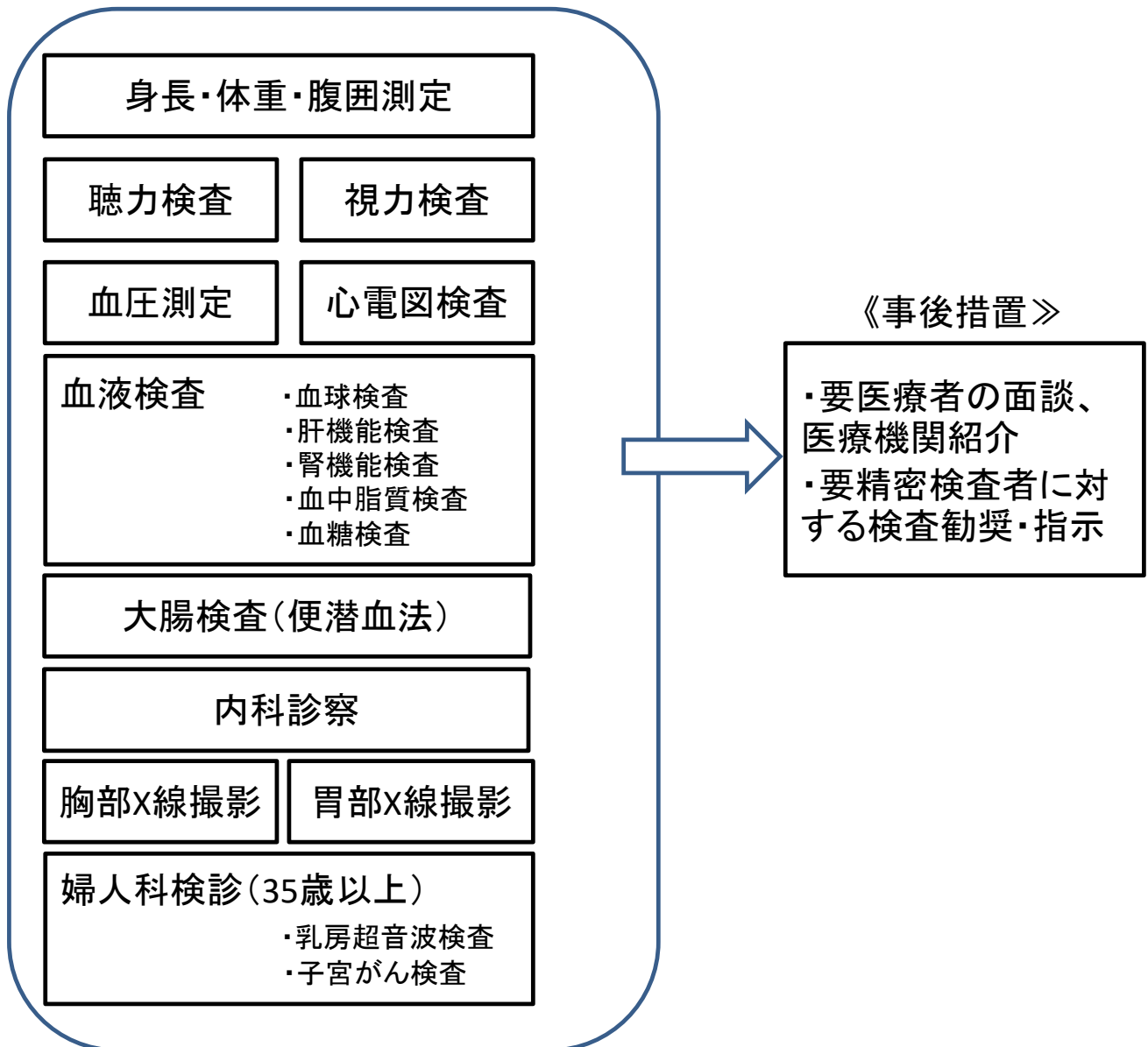
2) 実施状況・結果

新型コロナウイルス感染症対策として実施せず

Ⅲ. 職域保健

1. 教職員定期健康診断

1) 実施の流れ



《学内（校内）に契約業者が入り、健康診断を実施。保健管理センター医師が内科診察に参加。要医療者の面談、要精密検査者に対する検査勧奨・指示などの事後措置を保健管理センター医師が実施。教職員は、事業所内で実施される定期健康診断の代わりに人間ドックでの健診の選択も可能》

2) 定期健康診断実施状況

	対象者数(人)	実施医療機関別人数			受診率(%)
		本学(人)	外部医療機関(人)	計(人)	
常盤台地区	1,089	795	19	814	74.7
附属学校	161	135	0	135	83.9
計	1,250	930	19	949	75.9

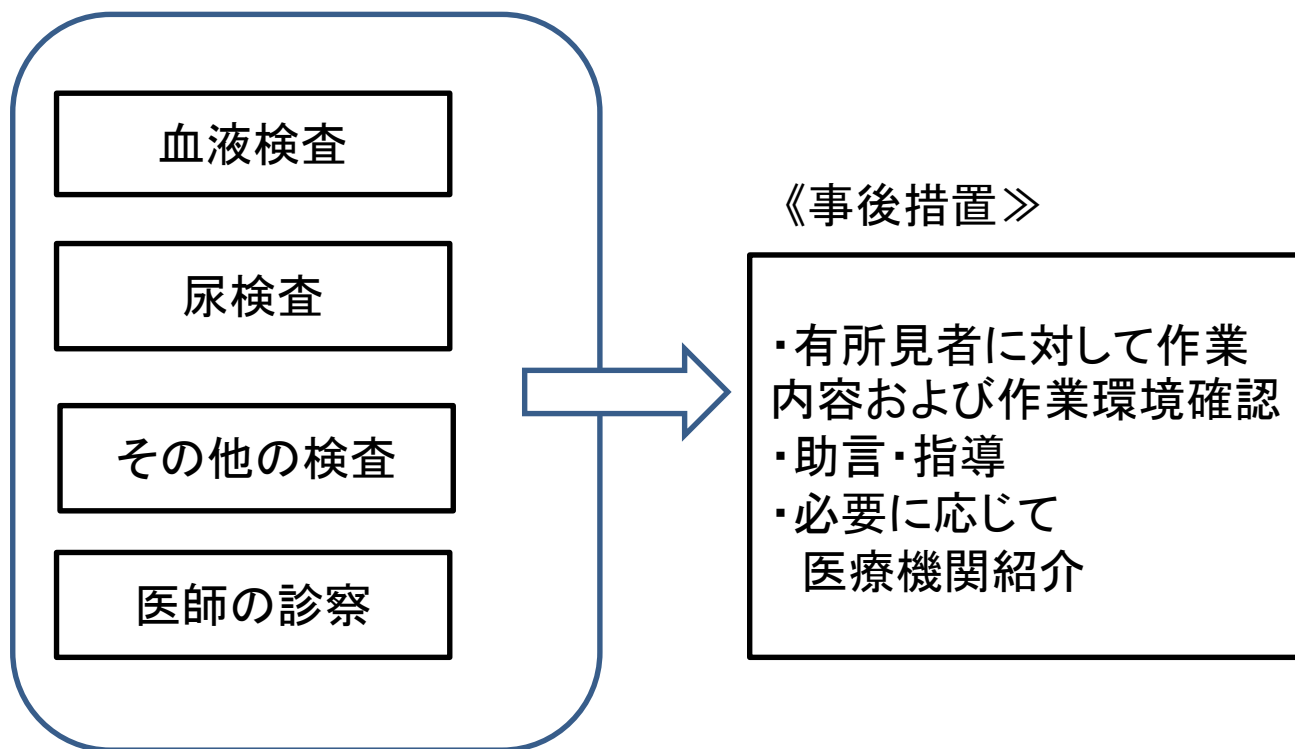
休職者除く

3) 雇い入れ健康診断受診状況

	実施医療機関別人数		
	本学実施(人)	外部医療機関(人)	計(人)
常盤台地区	95	10	105
附属学校	0	0	0
計	95	10	105

特殊健康診断

1) 実施の流れ



《学内に契約業者が入り、健康診断を実施。有所見者に対して保健管理センター医師が作業内容および作業環境を確認し、助言・指導を行う。必要に応じて、外部医療機関紹介》

2) 実施状況－教職員

		受診者数(人)	有所見者数(人)	有所見率(%)	有害物質の曝露による 又は、その疑い
粉塵検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
電離放射線	前期	3	0	0.0	0
	後期	7	0	0.0	0
	計	10	0	0.0	0
鉛検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
有機溶剤検診	前期	15	0	0.0	0
	後期	11	0	0.0	0
	計	26	0	0.0	0
特定化学物質検診	前期	31	0	0.0	0
	後期	34	0	0.0	0
	計	65	0	0.0	0
指導勧奨による 特殊健康診断 (労基署報告件数)	行政通達検診	前期	1	0	0.0
		後期	1	0	0.0
		計	2	0	0.0
	行政通達(VDT) 検診	前期	10	0	0.0
		後期	9	0	0.0
		計	19	0	0.0
その他の健康診断	前期	21	0	0.0	0
	後期	15	0	0.0	0
	計	36	0	0.0	0
石綿検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
特定業務健診	前期				
	後期	13	0	0.0	0
	計	13	0	0.0	0
合計	前期	81	0	0.0	0
	後期	90	0	0.0	0
	計	171	0	0.0	0

※その他の健康診断：アンモニア・フェノール・酸・病原体取扱者

特殊健康診断

実施状況－学生

		受診者数(人)	有所見者数(人)	有所見率(%)	有害物質の曝露による 又は、その疑
粉塵検診	前期	7	1	14.3	0
	後期	3	0	0.0	0
	計	10	1	10.0	0
電離放射線	前期	48	2	4.2	0
	後期	12	0	0.0	0
	計	60	2	3.3	0
鉛検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
有機溶剤検診	前期	160	2	1.3	0
	後期	94	1	1.1	0
	計	254	3	1.2	0
特定化学物質検診	前期	354	2	0.6	0
	後期	44	1	2.3	0
	計	398	3	0.8	0
指導勸奨による 特殊健康診断 (労基署報告件数)	行政通達検診	前期	18	0	0.0
		後期	13	0	0.0
		計	31	0	0.0
	行政通達(VDT)検診	前期	36	0	0.0
		後期	35	0	0.0
		計	71	0	0.0
その他の健康診断	前期	190	0	0.0	0
	後期	80	0	0.0	0
	計	270	0	0.0	0
石綿検診	前期	0	0	0.0	0
	後期	0	0	0.0	0
	計	0	0	0.0	0
特定業務健診	前期				
	後期	85	3	3.5	0
	計	85	3	3.5	0
合計	前期	813	7	0.9	0
	後期	366	5	1.4	0
	計	1179	12	1.0	0

※その他の健康診断：アンモニア・フェノール・酸・病原体取扱者

3. 産業医面談

1) 超過勤務者面談実施状況

産業医受診予定者

①超過勤務時間が月 80 時間を超える場合

②超過勤務時間が月 60 時間を超える月が 2 カ月連続した場合

③超過勤務時間が月 45 時間を超える月が 5 カ月連続した場合

実施月	受診者
4月期	9
5月期	1
6月期	1
7月期	0
8月期	1
9月期	0
10月期	0
11月期	1
12月期	0
R5 1月期	0
2月期	
3月期	
合計	13

2) 職場復帰支援面談実施状況

	月別回数
4月	8
5月	7
6月	9
7月	4
8月	4
9月	6
10月	4
11月	4
12月	3
R5 1月	1
2月	
3月	
合計	50

IV. 診療・カウンセリング業務

外来担当表

	時間	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Tursday	金 Friday
内科・一般診療 General clinic	09:00-12:30	大重 医師 Ohshige K, MD	大重 医師 Ohshige K, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD
	14:00-15:30	大重 医師 Ohshige K, MD	大重 医師 Ohshige K, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	藤川(哲) 医師 Fujikawa T, MD	
心療内科・精神科診療 Mental clinic (予約制)	10:00-13:00	西村 医師 Nishimura M, MD		藤川(美) 医師 Fujikawa M, MD (月1回)		
	14:00-17:00	西村 医師 Nishimura M, MD			西村 医師 Nishimura M, MD (月2回)	
心理カウンセリング Counsering (予約制)	10:00-13:00	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist (随時)	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist (随時)	生田 臨床心理士 Ikuta, Therapist
		生田 臨床心理士 Ikuta, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist
	14:00-17:00	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	杉山 臨床心理士 Sugiyama, Therapist	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist (随時)	福榮 臨床心理士 Fukue, Therapist (随時)	生田 臨床心理士 Ikuta, Therapist
		生田 臨床心理士 Ikuta, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist	松本 臨床心理士 Matsumoto, Therapist

1. 一 般 診 療

1) 月別診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学生	55	43	86	80	145	35	19	24	16	205	131	62	901
職員	41	40	38	32	33	33	46	38	48	61	85	99	594
合計	96	83	124	112	178	68	65	62	64	266	216	161	1495

2) 疾患別診療件数

		一 般 診 療																							
疾患 利用者		内科				外科						耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	歯 科	皮 膚 科	産 婦 人 科	泌 尿 器 科	健 康 相 談	そ の 他	精 神 科 ・ 精 神 相 談	感 染 症 ・ 相 談	産 業 医 面 談	合 計	外 部 医 療 機 関 紹 介	休 養
		呼 吸 器 系	循 環 器 系	消 化 器 系	そ の 他	創 傷	捻 挫 ・ 打 撲	骨 折 ・ 脱 臼	熱 傷	腰 痛 ・ 関 節 痛	そ の 他														
学部生	男	1	0	1	5	4	5	1	0	1	31	0	0	0	3		0	0	17	44	392		505	31	0
	女	0	0	0	3	6	2	0	0	0	0	0	2	0	3	1	0	0	11	18	170		216	0	0
	計	1	0	1	8	10	7	1	0	1	31	0	2	0	6	1	0	0	28	62	562		721	31	0
大学院生	男	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2		0	2	14	8	88		120	0	0
	女	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	25	22		60	2	0
	計	2	0	2	4	2	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	2	20	33	110		180	2	0
教職員	男	0	0	0	8	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1		0	0	5	44	69	244	373	18	0
	女	0	0	0	1	4	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	7	21	63	120	221	1	0
	計	0	0	0	9	4	2	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	12	65	132	364	594	19	0
合 計		3	0	3	21	16	9	1	0	2	31	3	4	0	10	1	0	3	60	160	804	364	1495	52	0

2. 精神科診療・心理カウンセリング

1) 月別診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学生	7	8	14	12	6	6	8	9	7	4	9	5	95

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
教職員	9	4	5	4	5	6	7	6	9	6	2	2	65

2) 月別カウンセリング件数

		4月		5月		6月		7月	
		学生数	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)
学生	常勤カウンセラー	57	2	58	1	60	3	34	1
	非常勤カウンセラー	87	10	108	14	126	16	108	11
	(小計)	144	12	166	15	186	19	142	12
教職員	常勤カウンセラー	1		3		2		2	
	非常勤カウンセラー	3		12		9		7	
	(小計)	4		15		11		9	
保護者	常勤カウンセラー	2		0		1		0	
	非常勤カウンセラー	0		7		3		2	
	(小計)	2		7		4		2	

8月		9月		10月		11月	
総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)
59	1	45	1	76	1	78	2
91	4	88	5	110	11	100	5
150	5	133	6	186	12	178	7
2		3		4		3	
4		5		8		6	
6		8		12		9	
0		1		2		2	
3		2		2		0	
3		3		4		2	

12月		1月		2月		3月		合計	
数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)	総数(回)	新規(人)
66	0	63	0	42	0	47	1	685	13
111	8	100	6	92	2	99	5	1220	91
177	8	163	6	134	2	146	6	1905	104
0		0		0		7		27	
7		6		7		8		82	
7		6		7		15		109	
0		0		5		10		23	
0		4		1		3		27	
0		4		6		13		50	
総合計(回)								2064	

V. 研究業績

1. 著書・論文

杉山明子. 東京学芸大学大学院 学位論文「青年期の回避傾向に関する実証的研究」

石黒 洋、藤川 哲也、潤間 励子、川村祐一郎、小林 大介、福岡 俊彦、三島香津子、山本 明子、山本 陵平. 学生の健康白書 2021、一般社団法人、国立大学保健管理施設協議会 学生の健康白書に関する委員会編 (2023.3).

Ueda E, Fujikawa T, Toya Y, Kuji T, Kakimoto-Shino M, Kawai Y, Kawano T, Azushima K, Wakui H, Tamura K. Clinical significance of a novel reticulocyte-based erythropoietin resistance index in HD patients: A retrospective study. Ther Apher Dial. 2022 Oct;26(5):915-923. doi: 10.1111/1744-9987.13772. Epub 2021 Dec 12.

Asuka Sawai, Yuki Nagata, Fumiyo Kudo, Hitoshi Fujii, Shinya Sawai and Tetsuya Fujikawa Relationship between Measurement Salt Taste Threshold and Salt Intake in Japanese Primary School Students, Parents and High School Students Using Test Papers of Low Concentration Taste Threshold Progress in Nutrition 2022; Vol. 24, N. 2: e2022098 In press.

2. 学会発表等

植田 瑛子, 小豆島 健護, 涌井 広道, 戸谷 義幸, 田村 功一(横浜市立大学附属病院腎臓・高血圧内科), 藤川 哲也(横浜国立大学保健管理センター) 血液透析患者における網状赤血球ヘモグロビンをを用いた新規エリスロポエチン反応性指標の予後予測能 第 119 回日本内科学会総会・講演会 (2022. 4. 15, 16, 17)/京都府京都市

3. 研究助成金

藤川哲也 科研分担 20 万

大重賢治 横浜市消防局受託研究「緊急度・重症度トリアージプログラムのソフトウェア設計」

VII. その他

1. 講義・講演等

講義：

藤川哲也 教養講義「健康の科学」身体（内科・保健衛生領域含む）

杉山明子 教養講義「健康の科学」精神

大重賢治 教養講義「健康の科学」社会

講演：

杉山明子「はまっこセミナー」講師

2. 学内委員会等

大重賢治. 労働安全衛生委員会

大重賢治, 藤川哲也, 杉山明子. 労働安全衛生委員会メンタルヘルス部会

大重賢治. 人を対象とする医学系研究倫理専門委員会

藤川哲也. 人を対象とする非医学系研究倫理専門委員会

大重賢治. 遺伝子組換え実験安全専門委員会

藤川哲也. ハラスメント相談員（役職指定）

藤川哲也. 危機管理警戒本部（新型コロナウイルス感染症）

杉山明子. 教育学研究科 教育相談・支援総合センター 運営委員会委員及びセンター研究論集編集委員長

横浜国立大学保健管理センター

令和 5 年 3 月 31 日 発行